

特集 東日本大震災に関連する情報 (平成23年3月11日～31日)

複合型災害の危機管理情報

区分	内容	新聞	掲載面	掲載日
官公庁/防災基本計画	政府は30日、東日本大震災の発生を受け、中央防災会議の「防災基本計画」を改定する方針を固めた。津波や原子力災害では、国や自治体の予測を大幅に上回る事態が起きることを踏まえ、想定外の災害対応を強化する	読売	5面	3.31
官公庁/指導力	地震と津波、原発の危機管理を乗り越えるには、政治の強い指導力が欠かせません。最終責任をとる覚悟が必要なのであって、虚飾に満ちた政治指導はならない。危機対応を問われているのは司令塔である。(けいざい百景)	読売	7面	3.27
官公庁/危機管理	長期的な視野で原子力の開発・利用計画の立案は、原子力委員会が行う。原発の安全規則は、原子力委員会が担い、事故への対策や放射性物質の拡散範囲を予測し、首相に助言するなど強い権限を持つが、記者会見を開いたのは事故から12日後の23日であった	読売	11面	3.30
官公庁/危機管理	東日本巨大地震発生以降、これまでに発表された「緊急地震速報(警報)」の約67%は、実際よりも大きい震度を予測していたことが、気象庁のまとめでわかった	読売	夕・2面	3.30
官公庁/危機管理	情報混乱 数値迷走 放射能「1千万倍」 100分の1に訂正 半減期違う物質誤認 [原子力安全・保安院は、東電に対して再発防止を口頭指示したと28日未明発表]	朝日	夕・2面	3.28
官公庁/危機管理	東電福島第一原発事故後存在感がなく国民への情報発信力の弱さが問われている内閣府原子力安全委員会委員長の班目委員長は「安全委は総理や官邸に助言するのが第一。表に出るべきではないと思った」と23日夜、弁明した。「今後は出来るだけ市民にも事故の軽重判断を伝えたい」と話す	読売	2面	3.26
官公庁/危機管理	官邸の危機管理、体をなさず：ルポライター	毎日	19面	3.21
官公庁/危機管理	危機管理後手：政権・東電互いに不信	朝日	3面	3.16
官公庁/復興方針	復興庁構想 組織いじりは時期尚早だ(社説)	産経	2面	3.25
官公庁/暫定基準	食品安全委 セシウム暫定基準維持 厚労省に結論委ねる 最低限の線引き急ぐ	朝日	4面	3.30
官公庁/暫定基準	食品安全委 ヨウ素基準変更せず セシウムは継続協議	朝日	5面	3.29
官公庁/海外支援	政府は26日、中国が派遣表明していた海軍病院船の受入を断念した。善意の医療支援とはいえ、中国海軍を受け入れるのは時期尚早との慎重論を考慮。	千日	2面	3.27
官公庁/災害対応	東松島：土葬開始	読売	夕・11面	3.22
官公庁/災害対応	ネット技術駆使：IT各社が支援：被災地自治体HPをバックアップ：情報システムを無償提供	朝日	夕・2面	3.22
官公庁/災害対応	被爆予測公表せず：研究者らが政府批判	朝日	5面	3.22
官公庁/災害対応	千葉：浦安と市川で水道復旧遅れ：埋立地に被害集中	読売	千葉版	3.19
官公庁/災害対応	遺体の多さに火葬場追いつかず：土葬検討する自治体も	読売	31面	3.18

官公庁/災害対応	政府の緊急災害対策本部、物流滞りでなす術なし：6日間無策：被災者支援の会議11回開くも具体策発表されず	読売	4面	3.17
官公庁/ボランティア支援	文科省 [東日本大震災被災者支援]ボランティアに単位 全大学に呼びかけ	朝日	14面	3.31
犠牲者	岩手県陸前高田市の死者126人の死因9割が溺死：想定外の津波になす術なく巻き込まれた可能性高い：千葉大教授調査	読売	31面	3.19
犠牲者	死者7千人超に：[発生9日目]	朝日	夕・1面	3.19
犠牲者	東日本大震災1週間：死者・不明2万5500人	毎日	1面	3.18
災害/救出	宮城・南三陸町の志津川病院 「患者さんを」そこに津波 看護師ら力尽くした30分 [伊藤さんは]「人の役に」と [山内さんは]「太陽のよう」 [後藤さんは]3児の母	朝日	11面	3.29
災害/救出	気仙沼で男性救出：半壊住宅の2階から：[精神的ショックで話せないが外傷なく命に別条なし]	朝日	夕・1面	3.19
原発	防災指針は「10キロ以内」：国の想定不十分：米国の想定は格納容器爆発：[国の甘い想定のおツケを地域住民が払わされている]	毎日	3面	3.20
原発	全国にある原発54基は、10メートル級の津波を想定しておらず、想定を超えた津波に襲われると、福島第一原発と同様の電源喪失に陥る恐れがあることが、読売新聞の調査で分かった	読売	3面	3.30
原発	原発制御 道のり遠く 急がれる冷却機能回復 被ばく限度「引き上げを」国際防護委が日本に勧告	毎日	2面	3.26
原発	福島原発事故は、スリーマイルを上回り、チェルノブイリに匹敵か。「最終的にレベル6以上になるのは確実」との見方が海外の専門家に広がっている。	千日	3面	3.26
原発	大気中の放射線物質を観測する包括的核実験禁止条約（CTBT）は24日、福島第一原発から放出され、既に太平洋上から米国、欧州に達した放射性物質は、今後2～3週間で世界を一周するとの見通しを示した。量は極めてわずかで、人体への影響はないという。	千日	3面	3.26
原発	大震災2週間 原発の長期戦に覚悟を（社説）	毎日	5面	3.26
原発	顔見えない原子力委員会 「黒衣役」というが「官房長官の家庭教師役」「危機感ない」批判も	毎日	3面	3.25
原発	震災発生から2週間経過後の状況は、最悪を脱し冷却機能の普及を急いでいる	産経	1面	3.25
原発	震災発生から2週間経過後の電力供給は、電力供給確保と節電努力を続ける	産経	1面	3.25
原発	防災指針は「10キロ以内」：国の想定不十分：米国の想定は格納容器爆発：[国の甘い想定のおツケを地域住民が払わされている]	毎日	3面	3.20
原発	情報開示最優先に：スリーマイル経験者ら：住民不安同じ構造：自己防衛の重要性訴え	東京	4面	3.20
原発	[使用済み核燃料貯蔵]プールへ放水 米科学誌評価	朝日	夕・1面	3.19
原発	原発、上空からの注水作業延期：専門家「上空はかなり高い線量が観測されたのでは」	読売	2面	3.17
原発	低い大火災の可能性：チェルノブイリ事故との違い	朝日	6面	3.16
原発	甘かった想定 頼った放出弁	朝日	3面	3.14
原発	原発の安全性の再検証を：政府の情報管理に問題、正確かつ迅速な公開を	産経	2面	3.13

医療/緊急対応	釜石市では、東日本大震災直後の急性期医療は乗り切ったが、在宅医療網が崩壊し、在宅患者には第2、第3の危機の波が襲う可能性がある	産経	26面	3.31
医療/緊急対応	この街 医師がいる 岩手・陸前高田の病院 被災地に仮診療所 元勤務先の旭中央病院も応援	朝日	29面	3.31
医療/緊急対応	地震と津波、原発事故という複合災害に陥った福島県いわき市は、各地から集まったボランティア医師で医療チームを編成して医療を担ってる。医療チームは2、3日ごとに交代し負担の軽減を図っている	読売	11面	3.29
医療/緊急対応	14日昼、いわき市のいわき泌尿器科病院の要請を受けた新潟大病院は新潟県に報告し、17日昼過ぎに到着した約150人の透析患者を県内の施設に振り分け、当日の夜には100人以上に透析を行った	読売	13面	3.29
医療/緊急対応	[避難所生活が長引く人達に複数の専門的視点から診察する動く]「総合病院」避難所へ 専門医ら[約30人が3チームに分かれ]巡回チーム	朝日	31面	3.29
医療/緊急対応	岩手県山田町は、震災で県立病院と三つの診療所が被災し休診に追い込まれ、町の医師不足に拍車	読売	12面	3.28
医療/緊急対応	陸前高田市 [広田]半島の[臨時]診療所[で診療]「故郷に恩返し」	毎日	22面	3.27
医療/高齢者	宮城県内 肺炎の重症化 急増 早めの受診を[東北大学は呼びかけ]	朝日	35面	3.31
医療/海外支援	政府間ベースでは、初の外国人医師支援チームの受入れとなるイスラエル軍の緊急医療支援隊が29日、宮城県南三陸町で住民の診療を始めた	読売	夕・1面	3.29
医療	習志野市医師会は市の支援を受け、盛岡市に医師7人、看護師2人、義肢装具士1人から成る医療チームを、25日夜に派遣した。	千日	8面	3.27
医療	感染症予防に歯磨きを「口内ケア」呼びかけ	朝日	29面	3.27
医療	石巻市には、日赤千葉県支部、成田赤十字病院の医師や看護師らが8人で1班を作り、24時間体制で被災者の看護にあたり、医療の灯をともしている。	産経	13面	3.26
医療	[震災の影響で]病院半数が診療制限 [災害医療の]中長期の支援課題	毎日	26面	3.26
医療	町医者奮闘 [石巻・名取]断水した医院で治療再開 [宮古]薬をがれきから集め	朝日	夕・11面	3.25
医療	抗がん剤治療を受けている患者に対する、非常時に備えた服薬指導などの取り組みが必要	読売	15面	3.25
医療	疲弊医師支える医師 有志終結・治療も物集めも 全国の力送り込むために	朝日	32面	3.25
医療	県立高田病院（陸前高田市）の事務局長は、津波から衛星電話を命がけで守り、有線電話や携帯電話の不通が続く逆境の中で、薬品調達や患者の情報収集の「命綱」となっている。	読売	31面	3.23
医療	人工呼吸器などを動かす医療機器の電源を、緊急時に確保するために奔走	読売	15面	3.23
医療	いわき市介護老人保健施設から千葉の亀田総合病院に避難中、2人死亡：95歳、身体機能低下/80歳、嚥下障害と移動ストレス	読売	夕・11面	3.22
医療	医師求め転々と：5歳児急病：病院「余裕ない」：南三陸悪路3キロ背負い	毎日	夕・8面	3.22
医療	災害派遣医療チームと関係省庁が連携：負傷者を自衛隊輸送機で運ぶ「広域医療搬送」を初実施	産経	17面	3.21
医療	透析お願いします：患者「命を守る闘い」：故郷を離れ北海道へ：昼夜を問わず：送迎にも苦慮	朝日	32面	3.21
医療	医療チーム駆け巡る：がれきの山越え避難所へ：不休の活動：届かぬ所も	朝日	32面	3.20

医療	千葉：旭市避難所でインフル感染：男性1人病院に運ばれる：対策急務	読売	千葉版	3.19
医療	福島：原発10キロ圏内の病院、患者だけ残し医師ら避難：警察からの避難指示：双葉病院	読売	夕・11面	3.18
医療	亀田総合病院にいわき市の透析患者45人無事到着	読売	千葉版	3.18
医療	放医研が医師ら全員緊急招集：治療受入体制準備へ	千日	18面	3.13
医療/薬不足	岩手県の車両通行止め：医療関係者も立ち往生：届かぬ薬	読売	4面	3.21
医療/薬不足	宮城：仙塩総合病院で入院患者死亡7人：80-90代の重篤患者：停電と断水が影響か	読売	31面	3.18
医療/薬不足	燃料不足で医薬品届かず	千日	17面	3.20
医療/薬不足	病院の薬・水・食料不足深刻：仙台市東北厚生年金病院には入院患者約4千人と近隣住民受入で廊下に横たわる人も	産経	23面	3.13
医療/薬不足	東日本大震災：避難所9割薬不十分：33ヵ所調査：病人487人悪化懸念：毎日新聞社調査	毎日	1面	3.21
医療/薬不足	唯一の医師、奮闘：診療所流され、薬品不足：岩手・野田村	毎日	27面	3.17
医療/薬不足	救助と水と食料と薬を	朝日	3面	3.14
原発/海水	福島第一原発から海に漏れ出している高濃度の放射性物質を含む水は、あまり薄まらないまま16km南の海岸まで潮流に流されている可能性がある	読売	2面	3.30
原発/海水	通常の1850倍もの放射線ヨウ素が検出された福島第一原発周辺の海域では、環境や海産物への影響を長期にわたってモニタリングする必要性を、専門家は訴える	千日	21面	3.29
原発/水道水	水道水 続く水対策 事業者、一時取水停止も ヨウ素の基準 WHO「充分」	朝日	35面	3.31
原発/飲料水	山梨・飲料水メーカー「増産もう無理」工場悲鳴 安全求め被災地外でも需要急増 計画停電追い打ち	毎日	夕・12面	3.31
原発/水道水	首都圏などの浄水場から、幼児向けの暫定規制値を超える放射線ヨウ素が検出されたが、厳格に作られている規制値であり、短期間の摂取であれば健康に影響を及ぼす可能性は極めて低いので、水分不足にならないようにするようにと、日本小児科学会は注意を喚起した	読売	15面	3.30
原発/飲料水	利根コカ・コーラボトリング（野田市）は、消費者庁の認可を得て、東日本大震災の被災地向けに、商品名のラベルがないペットボトル飲料水の緊急出荷を開始した	産経	22面	3.29
放射線/大気	ウィーンの気象地球力学中央研究所は、東日本大震災直後の3日間（12～14日）に、福島第一発電所から大気中に放出された放射性ヨウ素は、チェルノイプリ原発事故の10日間で放出された量の約2割に相当するという試算結果を公表した	読売	夕・2面	3.28
原発/水道水	千葉県は、放射線ヨウ素が基準を下回ったので27日、乳児への水道水摂取制限を解除した	千日	1面	3.28
原発/水道水	水道水くみ置き活用を 飲用保存3日程度 トイレ、一気に流す	朝日	21面	3.27
原発/事業者対応	東電はタービン建屋地下に高濃度の放射性物質を含む水たまりがある危険性を把握しながら、情報の共有を怠たり、3号機の作業員3名は被曝した。被曝事故は、水の危険性を伝えなかったことによる可能性があることが26日、わかった。	産経	9面	3.26

原発/水道水	小児3学会は、各地の水道水から乳児の暫定規制値を超える放射性ヨウ素が検出された問題について、「短期間の摂取であれば健康に及ぼす影響は極めて低く、乳児の水分不足は健康に重大な影響を及ぼす。代替りの飲料水が確保できなくても水分摂取を優先させる」などの見解を出す。	読売	30面	3.26
原発/水道水	放射性ヨウ素を含む水道水は、各家庭へ複数の浄水場から供給されるので「ブレンド」されるため、乳児基準値未満の水道水になる。各浄水場の数値にもバラツキがある。	産経	9面	3.26
原発/水道水	千葉県営水道の浄水場2カ所で乳児の暫定基準を超える放射性ヨウ素が検出されたが、再検査の結果規制値を下回ると発表 乳児が飲用しても支障なしと変更	読売	25面	3.26
原発/水道水	北千葉水道で基準値上回る放射性ヨウ素 千葉県7市で乳児の摂取制限	千日	1面	3.26
原発/飲料水	飲料水不足解消厳しく 容器も品薄・輸入には時間 メーカー「既にフル生産」	毎日	7面	3.26
原発/水道水	[東京都は24日に摂取制限を解除したが船橋の保育園や]病院は備蓄水利用	朝日	25面	3.25
原発/水道水	[水道水を飲む母親の赤ちゃんには]母乳の心配なし 妊婦も影響なし	朝日	3面	3.25
原発/水道水	水の安全 混乱に学び行動に生かせ(社説)	産経	2面	3.25
原発/水道水	東京都金町浄水場の水、摂取制限解除 乳児の基準値以下になる	産経	2面	3.25
原発/水道水	日本産婦人科学会 都金町浄水場の水、妊婦・授乳中でも健康被害なしとの見解表明	産経	2面	3.25
原発/水道水	水道水から幼児向け飲用基準を超えるヨウ素が検出：乳児の規制値「100ベクレル」・1年飲んでも影響ない値	読売	2面	3.25
原発/水道水	千葉県水道局は24日、松戸市内の2浄水場の水から、幼児の飲用基準を超える放射性ヨウ素が検出されたと発表 取水が同じ利根川水系の船橋など管内の11市を対象に、乳児の飲用を控えるよう呼びかけ	千日	1面	3.25
原発/水道水	千葉県の水道水から幼児の摂取基準値を超える放射性ヨウ素が検出されたが、今のレベルでは影響なし 風呂など心配ない 妊婦も通常の生活を 活性炭を添加すると放射性物質を減らす効果データを厚生省が紹介しているが、懐疑的な専門家の声もある	千日	5面	3.25
原発/水道水	金町(東京都)浄水場の放射性物質：乳児飲用基準の2倍のヨウ素 他の飲用水が確保できない場合は飲用可と東京都は呼びかけ	読売	1面	3.24
原発/水道水	乳児の摂取基準上回るヨウ素が検出された東京都の水道水：乳児も入浴・洗髪問題なし 科学的な根拠を分かりやすく示す必要あり	読売	2面	3.24
原発/水汚染	水汚染 企業に波紋 製水の操業停止・ミネラル水増産計画：行政の情報踏まえ対応 備蓄用、保育園に配布 「外食チェーン、小売店など」注意点を伝え提供	朝日	7面	3.24
原発/水道水	都浄水場から放射性物質検出 子どものミルク作れない 冷静に行動を：専門家 乳児以外は問題なし	読売	30面	3.24
原発/水道水	うちの水は 不安 問合せ次々 水配布・調査拡大・・・自治体も対策 都金町上水場：給水範囲を限定	朝日	夕・1面	3.24
原発/水道水	「赤ちゃんには」粉ミルク溶くのは控えて 「大人は」あまり神経質にならずに 「これからは」測定には誤差、推移見守る 「福島産野菜に」高い放射能検出 広範囲に規制 「制限品目は」出荷停止 一応産地確認を 「検査は」都道府県で実施状況に違い	朝日	31面3面	3.24

原発/水道水	妊婦・子どもは食品注意：飲料水1キロ300ベクレル、野菜類2千ベクレル、育児用ミルク100ベクレル未満	読売	29面	3.19
原発/水道水	6都県 水道水に微量放射性物質	毎日	22面	3.18
原発/水道水	基準超す放射性物質含む水道水、代替なければ飲料可：厚労省通知	産経	4面	3.18
原発/食	アレルギー声あげて 被災地の食事 卵・小麦・牛乳・・・	朝日	27面	3.27
原発/食	基準値を超える放射性ヨウ素が検出されたハウレンソウを生産する多古町は、千葉県の出荷自粛要請を受け26日までに、町内の農業関係者や生産団体に対して、安全性が確保されるまで、葉物野菜の出荷を停止するように求めた	千日	9面	3.27
原発/食	千葉県は25日、県産原乳と銚子産カタクチイワシの放射性物質の調査を行い、いずれも基準値以下と発表。	千日	1面	3.26
原発/食	飲食物の放射線物質：厳しい基準値・遺伝的影響もなし 測定し対策可能、冷静な行動を	産経	1面	3.26
原発/食	旭市と多古町の葉野菜6品目から、基準値超の放射線ヨウ素が検出された。千葉県が25日に発表。	千日	1面	3.26
原発/食	農水省HP、結果公表 「基準値以下の食品も把握を」	朝日	30面	3.25
原発/食	摂取制限の野菜 店頭の商品よく洗い、ゆでて食べる 検査品目は自治体判断	読売	15面	3.25
原発/食	福島原発から基準超すヨウ素 「いわき市、相馬市、本宮市、川俣町、飯館村」の5市町村	朝日	夕・2面	3.24
原発/食	食への拡散見極め：放射能検査めぐり混乱も：対象農作物自治体任せ：海産物も影響調査へ	朝日	2面	3.23
原発/食	11品目など摂取停止：福島・茨城県産放射性物質規制値超え：厚労省指示	毎日	夕・1面	3.23
原発/食	首相、摂取制限を指示：福島産の小松菜・ブロッコリーなど	朝日	夕・23面	3.23
原発/食	首相、出荷停止を指示：福島・茨城・栃木・群馬産ハウレンソウとかき菜、福島産牛乳	朝日	1面	3.22
原発/食	放射能と食品：監視と説明を徹底せよ	朝日	3面	3.22
原発/食	農作物基準超す放射能：ハウレンソウ・牛乳「健康影響ない」	朝日	1・3面	3.20
原発/食	福島・牛乳は規制値の約5倍の1511ベクトル、茨城・ハウレンソウは最大で規制値の7.5倍の1万5020ベクトル検出	読売	1面	3.20
原発/食	国内全国の食品に放射能の暫定基準値設定：検査を指示：厚労省	千日	2面	3.18
原発/農産物	スーパー各社は、基準値を超える農産物の対応について、各県の判断把握に追われている 国が出荷停止を指示する、千葉県や栃木県が出荷自粛を産地に要請することもあり、対応が一元化されておらず、対応状況が複雑さを増していることに困惑している	千日	5面	3.29
原発/農作物	水害や生産過剰になった農作物のすき込みは、放射物質の放出が一段落するまで待ち、どのくらい汚染があるか調べた上で、汚染レベルが低ければすき込みをする。国や自治体が最終的な処分方法を早急に打ち出すことが求められている。	千日	2面	3.27
放射線/測定	東日本大震災の影響による福島第一原発の事故を受けて、日本分析センター（千葉市）では、一日当たりの放射能検査測定依頼が200～300件に跳ね上がりあり、新規測定引き受けをいったん中止	産経	20面	3.30

放射線/被曝	福島県内の避難所や保健所で被曝量の検査を受けた人数は28日で、10万人を超えた 全身徐染は不要	読売	夕・11面	3.30
放射線/被曝	福島第一原発で作業中に高線量の放射線に被曝し、放射線医学総合研究所(千葉市)に入院していた作業員3人は28日、退院した	千日	21面	3.29
放射線/被曝	被曝の3人退院	朝日	2面	3.29
原発/放射線	IAEA 飯館村[で計測された最高値]は避難条件の倍	朝日	夕・2面	3.31
原発/放射線	関東[と東北南部で]低下傾向	朝日	夕・2面	3.31
原発/放射線	千葉県 [市原市の放射能モニタリング結果]放射能検査結果 健康に影響なし	朝日	29面	3.31
原発/放射線	福島第1原発の敷地内から検出されたプルトニウムは、核実験によるものではなく、このプルトニウム238の比率は原子炉から放出された恐れがあるが、危険性とは関係ない	千日	3面	3.30
原発/放射線	福島第1原発3号機はプルスーマルを実施しているので、敷地内の土壌から検出されたプルトニウムはそこから出た可能性がある。人体への影響が極めて大きいアルファ線を出すプルトニウムは、体内に入ると骨や肺に沈着して強い発がん性を帯びる。半減期の長いプルトニウム239は、体内に入ると放射線を出し続け排出されにくい。アルファ線は、人体に入った時の影響力はヨウ素などから出るガンマ線の約20倍と言われている	千日	19面	3.30
原発/放射線	原発事故による食品や水の放射能汚染リスクに関する政府機関などの説明は、消費者に分かりやすい形で伝える工夫が求められる。放射能のリスクは存在するという立場を明確にして説明することが不信を解消する	読売	15面	3.30
原発/放射線	福島第一原発事故に伴い、ハウレンソウなどの農作物の出荷自粛が求められているが、農作物の安全性を確保するとともに、流通の円滑化を図るための対策を講ずるようにとの要望書を28日、首都圏1都6県と福島県知事は連舫特命担当相に提出した。	産経	22面	3.29
原発/放射線	福島第一発電所内で検出されているヨウ素131、134、セシウム134、ジルコニウム95などの放射性物質が、どんな比率で存在するのかを調べると、原子炉や核燃料の状態が分かる。	読売	夕・2面	3.28
原発/放射線	福島第一発電所2号機のタービン建屋地下一階にたまった水の放射性物質の濃度分析で、コバルト56をヨウ素134と間違えたと公表したが、コバルト56ではなく、ヨウ素134と間違えていたのはセシウム134だったと、東電は2度の訂正記者会見を開いて謝罪した。	読売	夕・2面	3.28
原発/放射線	福島県には、放射線を測定する「ゲルマニウム半導体検出器」が5台しかないため、測定結果を公表するのに数日掛り県民から苦情が相次いでいる。	読売	夕・10面	3.28
原発/放射線	福島第一 作業員ら被曝不安訴え「この防護服、大丈夫か」	朝日	30面	3.27
原発/放射線	チェルノイブリ原発事故が発生して24年になるが、原子炉建屋の処理や被曝者の健康対策、農作物の放射能汚染といった課題に今も追われている。その一方で、ウクライナではナタネからバイオ燃料を作るなど農業再生へ向けて動き出している。	読売	6面	3.27
原発/放射線	累積放射線2.8ミリシーベルトに 原発北西30キロ 依然高い状態 妊婦への対応を	毎日	1面	3.27
原発/放射線	放射線って何? ・原子力発電所事故で外に ・大量に浴びると死ぬことも ・離れることで影響を防げる	毎日	12面	3.26

原発/放射線	今回の事故による放射線の影響は、胎児に与えるレベルではない。無用な被ばくを減らすように心掛け、授乳も普通に行って良い。	千日	21面	3.26
原発/放射線	福島・川俣町 子どもの被曝調査 甲状腺「問題ないレベル」	朝日	夕・2面	3.25
原発/放射線	放射線と避難 予測生かし、きめ細かに(社説)	朝日	3面	3.25
原発/放射線	第一原発3号機の作業員2名は、放射性物質を含む高濃度の水で被曝した。線量計の警報は、計器の故障と判断して作業を続けた。	読売	夕・1面	3.25
原発/放射線	震災発生から2週間経過後の放射能漏れは、「野菜」「水」「大気」に対して慎重な対応をしている	産経	1面	3.25
原発/放射線	福島第一原発を中心にした太平洋沿岸30キロ地点の海水に国の基準を超えるヨウ素131が検出された：文科省24日公表	読売	30面	3.25
原発/放射線	23日に降った雨後、「屋根などに残った雨粒の跡が黄色く見えるのは放射性物質が降ったのでは」との問い合わせが気象庁に殺到 「黄色い雨は花粉とみられる」と回答	千日	18面	3.25
原発/放射線	関東で黄色い粉の問合せ スギの花粉を放射性物質ではないかとの問い合わせが200件 東京、埼玉、千葉、茨城などの住民から	読売	30面	3.25
原発/放射線	原子力委員会は23日夜、放射性物資の拡散を予測した模擬計算結果を発表。ヨウ素の影響を受けやすい1歳児を対象に試算した。事故後の12日から野外に12日間いた場合、屋内での甲状腺への被曝量は、屋外の4分の1～10分の1になる。	読売	夕・12面	3.24
原発/放射線	いわき市の一部は「屋内退避」に入ったが、退避圏外の医療機関では放射線の不安から、暖房も空調も止めたまま医療を行っている	読売	夕・12面	3.24
原発/放射線	ヨウ素検出(社説) 赤ちゃんを守ろう	朝日	3面	3.24
原発/放射線	30キロ圏外 被ばくも 屋外100ミリシーベルト超す恐れ：原子力安全委	東京	1面	3.24
原発/放射線	被ばく検査受けたいのに 避難先自治体実施しない例も 「不要と判断」「機器不足」	東京	11面	3.24
原発/放射線	放射線被害 現状では皆無：対応は花粉症対策と同じ：日常生活でも自然被曝：発がんリスク喫煙以下	毎日	17面	3.23
原発/放射線	第一原発放水口付近の海水から放射性ヨウ素131が安全基準の126.7倍検出：セシウム134は24.8倍：セシウム137は16.5倍	読売	夕・1面	3.22
原発/放射線	9都県の雨など放射線物質検出	毎日	21面	3.21
原発/放射線	千葉：被爆心配の問い合わせ殺到：放射線医学総合研究所：「冷静に」呼びかけ	産経	千葉版	3.21
原発/放射線	正しく怖がること必要：30キロ圏の拡大不要：水も大丈夫	朝日	3面	3.21
原発/放射線	放射線注視が必要：福島県内依然高い数値	朝日	29面	3.19
原発/放射線	[千葉]放射線量10倍超観測：市原平常値比：人体に影響なし	朝日	千葉面	3.16
原発/放射線	全避難所で被曝検査	朝日	30面	3.16
原発/放射線	原発冷却壁また壁：応援の自衛隊員爆発で負傷：被曝の1人、放医研に	朝日	23面	3.15
原発/放射線	放射線量と影響のグラフ：自然被曝量は年2.4ミリシーベルト	千日	18面	3.13

原発/ヨウ素剤	千葉県が実施した放射性物質の検査で、旭市、多古町産のハウレンソウやパセリなど6品目の放射性ヨウ素が暫定基準を超えた 県は継続的に2市町産の野菜の検査を継続	読売	25面	3.26
原発/ヨウ素剤	ヨウ素体内8日で半減：野菜洗うか、ゆでれば「低減」	毎日	21面	3.21
原発/ヨウ素剤	いわき市：ヨウ素剤配布：国の指示なし：市民の問い合わせに配慮して	産経	21面	3.21
原発/ヨウ素剤	ヨウ素剤、3自治体独自配布：専門家「現時点での服用不要」：国と自治体の方針一致せず現地混乱	読売	30面	3.21
原発/ヨウ素剤	原子力安全委 安定ヨウ素摂取勧告：20キロ圏外避難時に：IAEA明かす	東京	4面	3.20
原発/ヨウ素剤	ヨウ素剤、安易な服用はアレルギーなどの副作用を招く恐れ：適切なタイミングで1回服用：効果は1日：その間に素早く避難を	千日	19面	3.18
地震・津波/安全対策	「想定外」の東日本大震災 海拔10メートル以下 東北の6倍、830万人 「東海地震」被害 見直し	東京	21面	3.31
地震・津波/ライフライン	震災発生から2週間経過後、高速道路はほぼ正常に、ガスは13%戻った。新幹線は東北新幹線の一部と山形新幹線は運休中。	産経	1面	3.25
地震・津波/マーケット	震災発生から2週間経過後、株暴落、復興需要で円最高値となる。	産経	1面	3.25
地震・津波/被災・避難	震災発生から2週間経過したが、被害の全体像は「把握」出来ないのが実情。	産経	1面	3.25
地震・津波/企業	震災発生から2週間経過後、自動車メーカーは部品調達で生産回復に時間を要するなど各分野で混乱が続いている	産経	1面	3.25
津波/規模	大津波6時間で7回 釜石沖20キロ 第1波最大6.7メートル	毎日	28面	3.31
医療/計画停電	計画停電長引けば利用患者減も：病院存続にも影響	産経	2面	3.21
医療/計画停電	計画停電：病院診療に支障も：[船橋市立医療センター、一般外来制限：千葉ポートメディカルクリニック、電子カルテのため停電中は休診]	毎日	千葉版	3.18
医療/計画停電	[千葉]発電機から煙：連絡なし停電：病院でトラブル続く	朝日	千葉版	3.16
医療/計画停電	[千葉]計画停電：難病患者ら長期化心配：人工呼吸器や定期通院が命綱	朝日	千葉版	3.16
医療/計画停電	[千葉]8市町で計画停電：病院、自家発電に不安	朝日	千葉版	3.15
医療/計画停電	停電「被災地なのに」：病院は手術中止：さいたま	朝日	21面	3.15
医療/計画停電	輪番停電備えを：医療 機器のバッテリー準備を	朝日	20面	3.14
医療/計画停電	[計画停電]、人工呼吸器や透析、不安	朝日	夕・3面	3.14
避難生活/仮設住宅	東日本大災害の被災地に「復興支援ハウス」が29日までに、石巻市の避難所の一角に到着。大人4人で1時間あれば組み立てられる、4人が寝泊まりできる仮設住宅	千日	20面	3.30
避難生活/要介護者	要介護者を高齢者は ・体力を維持する長期保存食品 ・簡易トイレ ・緊急たん吸引 は災害時の介護に備える工夫をする	読売	16面	3.27
避難生活/避難所	4割がトイレ劣悪 感染症増加 石巻・東松山・女川 避難所272カ所調査	毎日	11面	3.31

避難生活/医療	アレルギー疾患を持つ子どもには、安全な食品やマスクの確保が必要 支援団体が被災地に物資送る	読売	16面	3.31
避難生活/ケア	避難所生活が長期化する場合、震災児には身近な大人による適切な心の長期ケアを	読売	夕・2面	3.30
避難生活	避難所生活をされている妊娠中の方は、お水を飲んで尿にして排出することを絶対やってほしい。排出量もチェックする(産科医解体新書)。	産経	19面	3.29
避難生活	認知症 悪化に注意 雑音や人の出入りに配慮を	朝日	27面	3.28
避難生活	避難所体動かそう：熟睡に効果/転倒防止にも：ふくらはぎ運動 血行改善	朝日	27面	3.27
被災地支援	大震災2週間 被災地支援の正念場だ(社説)	毎日	5面	3.26
避難生活	認知症 避難所では落ち着ける場所を選択 つえや「つたい歩き」に支援を「が欠かせない	産経	21面	3.25
避難生活	認知症 静かな場所を選び状況説明 避難所での混乱を防ぐ	読売	15面	3.25
避難生活	足に静脈血栓の39人中(平均69歳)11人被災者多数：避難所3箇所調査：新潟大助教調査	読売	夕・11面	3.22
避難生活	ほこり マスクで対策を：津波の土砂で発生 呼吸器障害注意：がれき石綿含む危険も	朝日	夕・9面	3.22
避難生活	心のSOS気づいて：わずかな物音に緊張：引きこもる	朝日	27面	3.22
避難生活	放射線対策過剰になりすぎ：外出時は帽子、マスク、コートなど露出を控える心がけで十分：屋内に戻る時は外でコートを脱ぎ、手洗いを	読売	30面	3.20
避難生活	千葉：旭市にボランティア1118人：科学大学生・消防隊も活動	千日	17面	3.20
避難生活	1万5839人が県外避難所に：34都道府県で受入へ：読売新聞社調査	読売	1面	3.20
避難生活	断水対策：段ボールの中にゴミ袋をいれ、水のタンク代わりに	読売	15面	3.20
避難生活	災害時には携帯の操作覚えて「無事」伝えよう 通話よりメール	読売	10面	3.19
避難生活	毛布やタオルケットをガウンや着物を着るように体に巻けば保温に効果	読売	27面	3.19
避難生活	救命措置：心臓マッサージ1分間に100回以上：止血は傷口をガーゼかハンカチで圧迫するのが最も確実	読売	17面	3.18
避難生活	物不足どう乗り切る：水分確保最も重要：日用品工夫で代用可能	朝日	27面	3.16
避難生活	被災地衛生どう守る：トイレ ポリ袋活用：決して我慢しないで	朝日	19面	3.15
避難生活	震え：低体温症の予兆	朝日	19面	3.15
避難生活	インフラいつ戻る：車中泊3日間が限界：こまめに水分・体を動かして	朝日	14面	3.14
避難生活	家族は仲間は：緊急地震速報が流れてきた。さて、どうする：気象庁「利用者の心得」	朝日	20面	3.12
地震/災害	市原市は28日、11日のコスモ石油千葉製油所の火災で市内へ飛散したとみられる粒子状物質を分析した結果、有害物質は基準値以下であったと発表した	千日	9面	3・29
地震/災害	コスモ火災 市原市分析 飛散した物質人に影響なし	朝日	25面	3・29

地震/災害	東日本大震災に伴って発生した、コスモ石油千葉製油所（市原市）の火災爆発で飛散した黒い物質は、工場施設のガラスや耐火被覆材が上空で冷却され、再び固まったものである可能性が高いと28日、市原市は発表した。	産経	22面	3・29
災害者支援	「ドコモポイント」による義援金受付の開始	朝日	7面	3.24
被災者/労災	[厚生労働省方針]勤務中被災 労災に 事業証明は不要	毎日	1面	3.31
震災/規模	千葉県旭市の津波による被害が、東隣の銚子市より大きくなったのは、遠浅の海底が広がっている地形が津波を大きくしたことによる 東大地震研究所の准教授の調査でわかった	読売	夕・2面	3.30
震災/健康	首都圏でも症状悪化 大震災ストレス 不眠、めまい 1都5県医師対象ネット調査 余震、悲惨な映像不安に	毎日	1面	3.29
震災/健康	東日本大震災の影響で、都内でも「地震酔い」に悩む人が増えている	産経	21面	3.27
被災者/ケア	東日本大震災の影響で「地震揺れ」を訴える人が増えている。平衡感覚について医師と相談して睡眠・水分をしっかりと取って、血液の循環を良くすること。足腰を強くし、股関節の柔軟性を保つことで、平衡感覚の機能を改善する 揺れを感じたらブラインドやカーテンの揺れで判断する	産経	21面	3.31
被災者/ケア	地震酔い 深呼吸、体操などで緊張ほぐし撃退 1カ月以上続く不眠は要診断	毎日	13面	3.31
被災者/ケア	阪神大震災で学んだこと（上）。こちらの満足のために「聞きたいことを聞く。言いたいことを言う」のではなく、相手の世界に入り込んで、相手のエネルギーに共鳴させながら聞くことが大事。言葉をかけるときのマニュアルはなく、その人の状況に寄り添えば良い。	産経	18面	3.29
被災者支援	国立病院機構宮城病院（山元町）に「看護助手」として勤務していたインドネシア人看護師候補者リタ・ルトナンティアスさん（35）は、東日本大震災の発生当時から約1週間、被災者支援に尽力して一時帰国した。「リタさんの働きは、国の誇りだ」と、同国の労働・移住省幹部は称賛。	千日	3面	3.28
被災地/インフラ	被災地通信9割復旧 固定回線と携帯基地局 NTTグループ 正常化へ1万人動員	毎日	7面	3.31
被災地/インフラ	災害派遣医療隊の活用を 被災自治体の医療システム再構築が急務だ（これが言いたい）	毎日	10面	3.31
被災地/行政対応	浦安市の4分の3を占める埋立て地のほぼ全域で液状化現象が発生し、ライフラインが壊滅した 下水道の復旧に時間がかかりトイレが使えない状態にある 有権者たる市民が落ち着いて判断出来る状況になるまで統一選挙は延期してほしいなど、浦安市長は要望した	千日	10面	3.29
被災/紛失	運転免許証・健康保険証を紛失した場合、県警や医療機関に相談する	毎日	23面	3.26
震災/提言	大震災 老人のつぶやき 再建という希望が残った（作家・医師 加賀乙彦）	朝日	21面	3.29
大学	福島大学 入学辞退相次ぐ 原発事故「放射能が心配」 冷静な対応呼び掛け	毎日	11面	3.31
大学	被災学生支援、100校以上の大学が学費減免等の支援打ち出し	読売	14面	3.17
大学	防衛大卒業式：学位授与者が欠席へ：「首相らの出席おかしい」：[災害復興を優先に]	東京	22面	3.20
投稿者の言葉	科学者よ、もっと前へ：早稲田大准教授	朝日	13面	3.23
投稿者の言葉	地元の人を巻き込もう：医療NGO「AMDA」理事長	朝日	13面	2.23
投稿者の言葉	「ミ二霞が関」を現地に：東洋大教授（災害情報論）	朝日	13面	2.23

投稿者の言葉	避難所でスポーツ活動を：賀来医院院長・神戸大臨床教授	朝日	13面	3.22
投稿者の言葉	災害報道での問題点：既存メディアの見直し迫る：評論家	毎日	夕・6面	3.22
投稿者の言葉	福島第1原発放射能漏れにどう備えますか？：発表注視、理性的対応を：立命館大特命教授（放射線防護学）	毎日	7面	3.21
投稿者の言葉	的確な情報発信：脱官僚で野党の有力経験者も使い拳国一致の災害対策本部設置を：平和安全保障研究所理事長	産経	11面	3.21
投稿者の言葉	災害情報、受け手の理解を深める事前の防災教育必要	産経	11面	3.21
投稿者の言葉	防災に「想定外」は許されない：児童文学作家	毎日	17面	3.20
投稿者の言葉	本当にとどまっていいいのか：作家・僧侶	朝日	13面	2.19
投稿者の言葉	被害は数兆円、すべて失う：県が復興基金、国は支援を：宮崎県知事	朝日	13面	3.19
投稿者の言葉	被害状況発信できない茨城：高校生	朝日	12面	3.19
投稿者の言葉	震災と生活弱者：細かな目配り：緊急時こそ：[朝日新聞]編集委	朝日	13面	3.19
投稿者の言葉	「想定外の事故」解説の無責任	朝日	13面	3.18
投稿者の言葉	事故で露呈：オール電化の弊害	朝日	13面	3.18
投稿者の言葉	冷静に事態を見守ろう：特殊な数値で不安高まる：現時点では健康に影響ない：[毎日新聞]東京編集局	毎日	9面	3.18
投稿者の言葉	医療総動員で命救え：[毎日新聞社説]	毎日	7面	3.18
投稿者の言葉	スリーマイル原発事故に似る福島原発事故：政府は想定外を想定するのが大切：事故当時の米州知事	読売	9面	3.17
投稿者の言葉	首都圏から避難、必要ない：東京大名誉教授	朝日	13面	3.16
投稿者の言葉	不眠不休の現場を支えよ：作家・元核融合研究者	朝日	13面	3.16
投稿者の言葉	ネット使って支援策募れ：東京女子大教授	朝日	13面	3.16
投稿者の言葉	危機対応試される民主社会：倫説委員	朝日	6面	3.16
投稿者の言葉	すべてが後手後手に回る：大阪大名誉教授	朝日	13面	3.16
投稿者の言葉	原発責任者、現地から発信を	朝日	9面	3.15
投稿者の言葉	原発また爆発：大量被爆を回避せよ：[朝日新聞社説]	朝日	3面	3.15
投稿者の言葉	巨大地震専門家は：M8.8驚きの数字：京都大名誉教授（地震学）	朝日	5面	3.12
投稿者の言葉	巨大地震専門家は：最大級の海溝型地震：「人と防災未来センター」長	朝日	5面	3.12
海外支援	国連児童基金（ユニセフ）は、被災地の子どもなどを対象に、職員の派遣や物資などの支援を開始 発展途上国を対象としているユニセフが、先進国に支援を行うのは異例の措置	産経	2面	3.25
海外反響	米紙USAトゥデー、3つのシナリオ：最悪のシナリオは使用済み核燃料プールの水がなくなり放射能 飛散が80キロ以上に達すること	千日	3面	3.20

海外反響	ウクライナ非常事態相、福島原発の事故規模はチェルノブイリの5%との見方：有害物質、チェルノブイリ約3億キュリー/福島1500万 - 2千万キュリー	千日	3面	3.20
海外反響	青森県：リンゴに測定値添付：台湾側、「証明書」要求	朝日	29面	3.20
海外反響	外国籍住民、被災地出る：婚約者残し「必ず戻る」：食糧難「妻は国へ」	朝日	29面	3.20
海外反響	米西部で低水準の放射性物質観測：福島原発事故と関連している可能性あり：欧州到達の可能性も	千日	3面	3.18
海外反響	放射能汚染：各国警戒：福島原発事故：避難勧告、続々：日本からの入国者に検査	毎日	6面	3.18

凡例1．千日：千葉日報 夕：夕刊(その他の無記載は朝刊ないし日刊) 2．著作権上、新聞記事の見出しと異なる見出しの場合は、印の後に記載しています。3．掲載見出しに補足した場合、補足部分を[]で記載しています。4．読売新聞、産経新聞の見出しは著作権等があり掲載記事の見出しとは異なるように配慮しています。5．日本経済新聞、秋田さきがけ、河北新報の記事は著作権等があり掲載していません。6．同一記事が複数の新聞で報道されている場合、可能な限り、最も詳しい内容ないしは早い日付で報道されたものを掲載するようにしています。また、著作権を問題としない商業紙を優先し掲載しています。7．震災関連以外の3月分記事は、4月分と共に5月初旬に掲載します。

情報検索サイト

被災地の現状や復興に役立つ情報	防災科学技術研究所(つくば市) ALL 3 1 1 東日本大震災協同情報プラットフォーム http://all311.ecom-plat.jp/
安否・支援情報の主なサイト	東日本大震災Googleによる総合震災情報サイト： http://www.google.co.jp/intl/ja/crisisresponse/japanquake2011.html Yahoo!ボランティア： http://volunteer.yahoo.co.jp/ 日本気象協会： http://tenki.jp/earthquake/ 震災後にツイッターに投稿された心温まるつぶやきprayforjapan.jp： http://prayforjapan.jp/message/ YOMIURI ONLINE： http://www.yomiuri.co.jp/
糖尿病患者向けインスリンに関する医療施設情報	岩手医大病院：019-651-5111 宮城東北大病院糖尿病代謝科：022-717-7611 宮城東北労災病院：022-275-1111 福島県立医大病院：024-547-1206 福島赤十字病院：024-534-61011 福島総合磐城共立病院：0246-26-3151 茨城那珂記念クリニック：029-353-2800 茨城西山堂病院：0294-72-5121 茨城日立総合病院：0294-23-1111
糖尿病患者向けインスリンに関するメーカー	ノボノルディスクファーマ：0120-180-363、0120-359-516 サノフィ・アベンティス：0120-497-010、0120-109-905 日本イーライリリー：0120-360-605

各自治体の放射線量をネットで確認	環境防災Nネット： http://www.bousai.ne.jp/vis/index.php
人工透析に関する医療施設情報	日本透析医会： http://www.saigai-touseki.net/ 岩手県健康国保課：019-629-5471 青森県医療薬務課：017-734-9287 宮城仙台社会保険病院：022-275-3111 茨城県保険予防課：029-301-3219
被災地の精神科病院情報リスト	NPO法人・地域精神保健福祉機構と国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所： http://comhbo.net
低体温症：暖のと取り方：登山医からの情報発信	日本登山医学会： http://www.jsmed.org.index.html
震災映像 子どもに負担	「子どもの心のケアのために」のリーフレット：日本小児科医会： http://jpa.umin.jp/kokoro.html
安否確認に伝言板：声録音、コメント登録	[NTT：災害伝言板ダイヤル171・web171] [ドコモ： http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi] [au： http://dengon.ezweb.ne.jp] [ソフトバンク： http://dengon.softbank.ne.jp] [google： http://japan.person-finder.appspot.com/?lang=jp]
家族は仲間は：安否情報どう知らせ、どう知る？	固定電話：災害用伝言ダイヤル171 携帯電話：災害用伝言板 スマートフォン：メール・web171
放射線量：相談窓口を設置	文科相福島第1原発周辺住民向け健康相談ホットライン：0120-755-199 被ばく医療健康相談ホットライン：020-5582-3521、090-4836-9386、080-2078-3308
各都道府県別放射線モニタリングデータ	文部科学省 http://www.mext.go.jp/
都内の環境放射線測定結果	東京都健康安全研究センター http://ftp.jaist.ac.jp/pub/emergency/monitoring.tokyo-eiken.go.jp/monitoring/index.html
知的人材ネットワーク あいんしゅたいん	NPO法人「知的人材ネットワークあいんしゅたいん」 http://jein.jp/